
魔法少女リリカルなのはStrikerS 青き炎を持つ断罪者

白雪姫

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

魔法少女リリカルなのはStrikers 青き炎を持つ断罪者

【Nコード】

N3867Z

【作者名】

白雪姫

【あらすじ】

機動六課に転属する青年はそこで自らの力で仲間を守っていく

プロローグ

一人の青年が森の中に立っていた

その青年は黒い髪を肩甲骨あたりまで伸ばしてそれを縛っている
服は半袖のYシャツを着て下は黒いスーツ、簡単に言ってみれば学
校の夏服だった

左手には一本の刀、そして右手には銃が握られていた

「…行くか」

その青年の足元にはガラクタとなった機械が転がっていた

そして青年の体が一瞬だけ光ると服が変わり黒の服に変わった

剣と銃もなくなっていた

そして青年の目の前に画面が現れて、そこには黒い髪をした男性が
いた

「終わったかい？」

「はい。今からそっちに戻ります」

「そのことだが君には山岳地帯で暴走しているリニアレールに積ん
であるレリックの回収を手伝ってもらいたい」

「手伝うということとは…」

「すでに機動六課が回収に向かっている。君にはそのサポートをし
て欲しいんだ」

「わかりました。そして俺はそのまま六課に異動ということでもいい

ですか？」

「うん。それじゃあ頼んだよ」

モニターが消えると青年の足元に青い魔方陣が現れる

「それじゃあ早く済ませちゃおうかな？『アイン』も早くみんなに会いたいだろうしね」

すると、青年の隣に銀髪の髪を伸ばして真っ赤な瞳をした美女が出てきた

「そうですね。あの時『タクト』が助けってくれなかったら私は消えていましたから」

「まっ俺はお前が消えたら嫌だったからな」

「／／／何恥ずかしいことを言っているんですか！？／／／」

「ハハッ！赤くなっちゃって可愛い」

「／／／」

（そろそろアインが壊れるな…）

タクトはこれ以上はアインがおかしくなると直感した
タクトはアインの手を取る

「た、たたたたたたたタクト！？／／／」

「行くぞ」

タクトはそんな彼女を無視して転移をした

プロローグ（後書き）

感想などよろしくお願いします

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3867z/>

魔法少女リリカルなのはStrikerS 青き炎を持つ断罪者

2011年12月13日02時10分発行